

番 号	10103
効用の種類	色・形による生理・心理的効用(アメリカ 看護師グループの記録)
タイトル	View Through a Window May Influence Recovery from Surgery 術後の回復に窓からの景色が与える影響
概 容	胆のう摘出手術を受けた患者の術後の病室を、窓から樹木が見える病室と、窓からレンガの壁が見える病室の2グループに分けて検証。 その結果、窓から樹木が見えるグループの方が、手術日から退院日までの入院期間が短く、術後7日目までの看護師の患者の状態を評価コメントにもポジティブなものが多く、鎮痛剤の強度も弱めのを服用する傾向にあり、術後合併症を引き起こす割合も若干低かった。
内 容	<p>(目的)</p> <p>自然の風景が人によい影響を与えることが過去の研究から明らかになってきた。しかし、病院の入院患者の中には外に出ることができず、窓からの風景を見るだけの患者もおり、外の景色は同じ部屋で長期間過ごさねばならない術後の患者などにとっては、とても重要である。そこで、病室の窓からの景色が患者にどのような影響があるか調査した。</p> <p>(調査内容)</p> <p>アメリカ、ペンシルバニア州の病院の2階と3階の病室で、1972年から1981年の間調査を行った。病室の配置はFig.1の通りで、全調査期間において階ごとに配置された専属の看護師グループが記録を取った。</p> <p>各部屋は二人部屋で、窓の大きさと配置、ベッドや家具の位置は全て同じであり、唯一の違いは窓からの景色であった。被験者は、胆のう摘出手術を受けた患者で、年齢は20歳から69歳の46名とし、被験者を性別、年齢(±5歳以内)、喫煙の有無、肥満度、入院経験、手術の年(±6年以内)、病室の階が同じ様である二人ずつのグループに分け、このうちの一人を窓から樹木が見える病室、もう一人を窓からレンガの壁が見える病室に振り分けた。こうして23組のペアができたが、そのうち女性ペア15組、男性ペア8組であった。回復データとして、看護師の記録から次の5つの記録を抽出した。入院日数、毎日の鎮痛剤の強さと回数、毎日の精神安定剤や睡眠薬の強さと回数、しつこい頭痛や吐き気などの軽い合併症、その他の患者の状態や回復の経過に関する看護師の記録。</p> <p>(結果)</p> <p>入院日数に関しては、レンガグループ平均8.70日に対して、樹木グループ平均7.96日と、樹木グループの方が短かった。看護師の患者の状態についてのコメントは、ネガティブ(例、落ち込み、泣く、もっと励ましが必要など)もしくはポジティブ(例、元気がある、順調など)に分類したが、レンガグループ患者一人当たりのネガティブコメント平均3.96に対し、樹木グループは1.13と、レンガグループの方が多かった。ポジティブコメントは樹木グループの方が多かったが、統計的な有意差はなかった。投薬回数と薬の強度に関しては、術後2日目から5日までの鎮痛剤の投薬回数に有意差があった。樹木グループでは、強い、または中程度の鎮痛剤の投薬がレンガグループ</p>

より少なく、弱い鎮痛剤の投薬が多かった。術後の合併症のスコアは樹木グループの方が低かったが、統計的な差はみられなかった。

Table 1. 窓からの景色が壁のグループと木々のグループの患者への鎮痛剤投薬の比較
術後の日数、鎮痛剤の強度、投薬回数について

Table 1. Comparison of analgesic doses per patient for wall-view and tree-view groups.

Analgesic strength	Number of doses					
	Days 0-1		Days 2-5		Days 6-7	
	Wall group	Tree group	Wall group	Tree group	Wall group	Tree group
Strong	2.56	2.40	2.48	0.96	0.22	0.17
Moderate	4.00	5.00	3.65	1.74	0.35	0.17
Weak	0.23	0.30	2.57	5.39	0.96	1.09

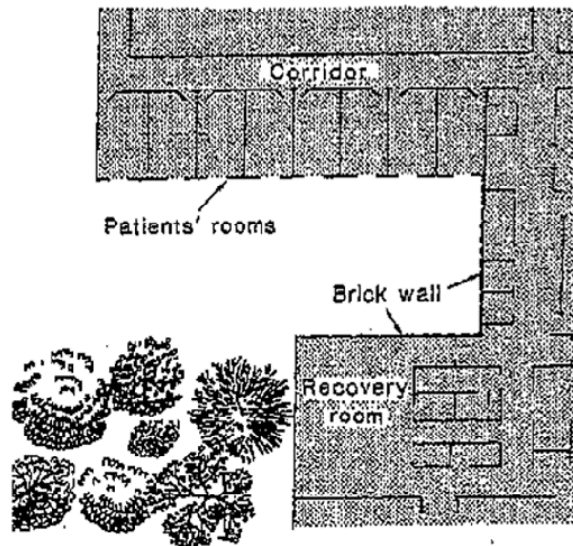


Fig. 1. Plan of the second floor of the study hospital showing the trees versus wall window views of patients. Data were also collected for patients assigned to third-floor rooms. One room on each floor was excluded because portions of both the trees and wall were visible from the windows. Architectural dimensions are not precisely to scale.

Fig. 1 実験を行った病院の二階の平面図
部屋からの景色が壁の患者と、部屋からの景色が
木々である患者のグループに分けて実験

出典

ROGER S. ULRICH
SCIENCE, VOL.224 420-421 27 APRIL 1984

備考